

第36回 SATOU フォーラム

前々回から新会場（八重洲）です。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (右 QR コード)

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

(過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます)



記

日時：2023年11月7日（火） 16:00～19:00（受付開始は15:50より）

会場：イオンコンパス東京八重洲会議室 RoomC

中央区京橋1-1-6 越前屋ビル4階

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。

(FAX 又は PDF にてメールで送付ください。)

- >15:50～16:00 受付
- >16:00～16:15 会員情報発信
- >16:15～18:00 [講演] (質疑応答時間含む)

「訳あり物件（ハイリスク・ハイリターン物件）にも積極投資して、今や資産数10億円。事例にもとづく物件の見極め方のノウハウは？

来年に迫る日銀の利上げに不動産業者は、どう備えるか？」

これまでも内藤社長にはご講演をお願いしている。融資の対象となりにくい、底地・再築不可・遵法性違反や築古物件などをケガなく購入してマネジメントするには、相当年季の入ったノウハウが必要だ。

"高値圏マーケットの明日"は、今日の風が吹くかどうか。

講師：内藤 カ 先生 (株)プラレールインベストメント代表取締役社長)

- >18:00～19:00 交流会 ビールと軽いつまみで情報交換タイム

[今後のSATOUフォーラムの予定] 第37回 2024年2月7日（火） 演題・講師未定



東京駅八重洲中央口徒歩4分

(東京メトロ銀座線京橋7番出口徒歩3分)

八重洲地下街24番出口出て

すぐ右側のビル4階です

内藤 カ先生 プロフィール

1998 年大学卒業後、大手不動産流通会社に勤務。2001 年有限会社プラレール（現(株)プラレール・インベストメント）勤務、代表取締役就任。2006 年から(株)サタスイングレイトに参画。現在、自社グループにて投資用不動産 60 億円、太陽光発電所 20 億円程を投資運用中。

ミミズだって オケラだって 生きているんだ！

拙宅の付近に残っている在来農業の方が、自分の畑で採れた野菜等を、道端に並べて売っている。いうまでもないが、今どきの都市消費者好みの“無農薬・有機栽培、だ。

異常な暑さが続いた今年の夏は、ニンゲンにとってはキツかったが、ムシにとっては、絶好の環境だったようだ。

「大量発生したムシを手でつぶすのは、大変でしたネ？」と尋ねたら、笑われてしまった。「そんなことやっていたら、トマト1つが千円になっちゃう。野菜の周りにその野菜を荒らすムシが嫌いな“ムシ除け植物、をグルリと植えるのだ」。野菜のムシ防衛抑止力に、他の植物を使うとは、手の虐殺よりよほどスマートである。

ところで昆虫を総称して**ムシケラ**と呼んだりするが、つまらない・取るに足らないモノというニュアンスのある**一種の差別用語**である。どういうわけかムシの総代に選ばれてしまったケラは、文句の一つも言いたいだろう。

そもそもケラとは、どんなムシなんだろう？

「手のひらを太陽に」の歌詞に「ミミズだって オケラだって あめんぼうだって みんなみんな 生きているんだ 友だちなんだ」とある。

ここでは「お」をつけて少していねいに呼ばれているが。

その正体は、**ジャ〜ンなんとコオロギ**なのだ。コオロギのくせにモグラのように土の中を活動の場を選んだ変わり者である。だから「**モグラコオロギ**」という立派な名前があるが、残念ながらあまり知られていない。コオロギの証拠に羽をこすり合わせて音を出す。

夏の静かな夜、**耳に「ジー」と鈍い音**が聞こえる。古人はこれを地面の下でミミズが鳴いていると考えた。ケラは、パワーシャベルのようなガッチリした前脚で土の中を進む。ケラを捕まえると、その立派な前脚をいっぱい広げる。その恰好がニンゲンがバンザイをして手を上げている姿に似ている。競馬など賭けごとで負けて一文無しになってしまうことを「**オケラになる**」というのは、ここからきた。オケラにとっては、いいはた迷惑だろう。

ついでに「ジー」の鳴き声を勘違いされたミミズだが、馬鹿にしちゃあバチが当たる。ミミズは動物の死がいなどの有機物を食べて糞として排出する。**その糞こそ地球の土そのものである**。ミミズは英語で「アースワーム」すなわち「地球虫」というそうだ。

さてニンゲンは、ゴーマンにもムシを益虫と害虫に分けたがる。ミツバチやテントウムシは益虫だが、ノミ・シラミ・カ・ハエ・南京虫等ニンゲンに好ましからざるムシは害虫として排除される。

娘に良からぬと思われる男ができた場合、「**ムシがつく**」という。明らかに男は「害虫」扱いだ。これと反対の息子に良からぬ女ができて、決してそういう言い方はしない。女性は「害虫」になれないのだ（だからといってどーってことないが）。

ニンゲンの体内に想像上のムシがいて、さまざまな感情を引き起こすと考えられてきた。「ムシの居所が悪い」「なんとなく気に食わない」「ムシが好かない」「ムシが知らせる」等がある。

さらに一歩進んでニンゲンの性質をおとしめていう場合がある。

「弱虫、泣き虫、怒り虫」等。

岸田首相の登場によって「増税虫」という新種が登場するかもしれない。

ムシムシする夏が終わった。アツこれはムシではなかった。ムシしてください。秋の夜長を虫の音を聞きながら「物買えば ふところ寒し 秋の風」 以上

(文責：佐藤)

第 36 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)
よろしく願い申し上げます。

フォーラム参加費: 6,000円(税込)(交流会費 1,000円含む)

交流会参加 交流会不参加

お名前			
企業名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

*お忙しい中恐れ入りますが、11月2日(木)頃までにご返信をお願いできればと存じます。

<事務局>

プラチナ出版株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7
京橋鈴木ビル 7F
事務局: 今井 090-1701-7108
[Tel:03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax:03-6264-4644
E-mail: info@pulatinum-pub.co.jp

振込先: 三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697
口座名義: 佐藤 一雄